

ひとにやさしいまちづくり推進指針に関連する構成事業一覧

NO.	事業名	事業概要	令和6年度計画	令和6年度実績	令和7年度実績見込み	県民計画等各種計画における目標値	担当室課等	実施主体
1 全ての人が個人として尊重され、自らの意思に基づき自由に行動し、あらゆる分野の活動に参加することを可能にする『ひとづくり』								
(1) 意識啓発の促進								
1	ユニバーサルデザイン推進事業	○ユニバーサルデザインに関する意識醸成を図るため、県・市町村職員や教育関係者、事業者、県民等を対象としたセミナーを開催 ○県民の意識高揚に向け、ひとにやさしいまちづくり・ユニバーサルデザインの推進に寄与した個人・団体を表彰（知事表彰） ○ひとにやさしいまちづくりの推進に関する調査審議を行うため、ひとにやさしいまちづくり推進協議会の運営 ○県が建築・改築する一定規模以上の特定公共的施設について意見聴取会を開催	○条例の理念周知や意識醸成を図るため、県・市町村職員や教育関係者、事業者、県民等を対象としたセミナーを開催（年4回） ○県民の意識高揚に向け、ひとにやさしいまちづくり・ユニバーサルデザインの推進に寄与した個人・団体を表彰（知事表彰） ○ひとにやさしいまちづくり推進協議会の運営 ○県が建築・改築する一定規模以上の特定公共的施設について意見聴取会を開催	○ひとにやさしいまちづくり推進指針（2025～2029）制定 ○ひとにやさしいまちづくりセミナー開催（計4回・ハイブリッド開催含む） ・第1回 12月12日 参加者28名 「久慈地域におけるひとにやさしいまちづくりの取組」 ・第2回 12月25日 参加者 11名 「聴覚障がい者のコミュニケーション 手話を学ぼう」 ・第3回 1月21日 参加者 25名 「全ての人の「個」が尊重される社会とは」 ・第4回 1月31日 参加者 9名 「認知症サポーターになろう」 ○県が建築・改築する特定公共的施設についての意見聴取会（1回：紫波警察署（書面開催）） ○ひとにやさしいまちづくり推進協議会（9月、1月開催）	○ひとにやさしいまちづくり（2025～2029）パンフレット作成 ○ひとにやさしいまちづくりセミナー開催（計4回開催予定） 第1回 11月28日 参加者 27名 「ユニバーサルデザインを推進する上で大切な視点～普通の生活をするために～」 第2回～第4回 12月下旬～2月中旬 開催予定 ○知事表彰を実施予定 ○県が建築・改築する特定公共的施設についての意見聴取会（1回：岩手県福祉・消費生活関連相談拠点施設（仮称）R7.5.13開催） ○ユニバーサルデザイン電子マップの運営 ○ひとにやさしいまちづくり推進協議会（R8.1.20開催）	—	保健福祉部 地域福祉課	県
2	障がい者駐車場適正利用促進事業（ひとにやさしい駐車場利用証制度）	○ひとにやさしい駐車場利用証制度の運営（H22～） ○公共的施設の障がい者用駐車場（車椅子利用者用駐車施設）の適正利用を促進するため、県と施設管理者が協定を締結し、利用対象者に対して利用証を交付	○利用証の交付 ○指定駐車施設の協定締結促進（R6：アクションプラン目標値 1,110区画）	令和7年3月末時点 ○利用証の交付 ・利用証発行件数 21,662件 長期（5年更新）1,159件（制度開始後累計 19,542件） 短期（最長1年間）279件（制度開始後累計 2,120件） ○指定駐車施設 28施設53区画増加（累計559施設1,185区画）	令和7年10月末時点 ○利用証の交付 ・利用証発行件数22,695件 長期（5年更新）808件（制度開始後累計20,383件） 短期（最長1年間）191件（制度開始後累計2,312件） ○指定駐車施設 3施設9区画増加（累計562施設1,194区画）	【県民計画第2期アクションプラン】 ○ひとにやさしい駐車場利用証制度駐車区画数【累計】 R6：1,150 R7：1,170 R8：1,190	保健福祉部 地域福祉課	県
3	ユニバーサルデザイン推進団体（障がい者観光サポーターの会）支援	○「障がい者観光サポーターの会」の目的・障がい者観光サポーターが、お互いに情報を共有し活動を作り上げていくことで、久慈地域の住民に対して障がい者への理解を促進する。 ・身体が不自由な人でも観光を楽しめるよう支援していくことを通して、ひとにやさしいまちづくりを進める。 ・具体的には、「既存の施設でいかに人に支援できるか」を重視する取組をしている。 ○当会に対する県の支援は次のとおり。 ・定例会等資料印刷費、資料郵送費の負担 ・定例会、総会及び交流会開催時の会議室貸与 ・月一定例会に担当者は適宜オブザーバー参加 ・その他、担当者が一部事業に参加	○定例会（毎月第一水曜日）にオブザーバー参加 ○ふれあい福祉まつり（障がい者体験コーナー）及び歳末たすけあい芸能大会（寸劇） ○次の事業は会が久慈市社会福祉協議会と協力して実施 ・福祉教育（障がい者・高齢者体験）出前講座	○定例会（毎月第一水曜日）にオブザーバー参加 ○以下、会の活動 ・ふれあい福祉まつり（障がい者体験コーナー） ・久慈市中央市民センター避難訓練（車いす・白杖体験） ・福祉教育（障がい者・高齢者体験）出前講座3回（長内小、久慈湊小、小袖小） ・街なか散策会（市内施設のユニバーサルデザインチェック）	○定例会（毎月第一水曜日）にオブザーバー参加 ○以下、会の活動 ・ふれあい福祉まつり（障がい者体験コーナー） ・久慈市中央市民センター避難訓練（車いす・白杖体験） ・福祉教育（障がい者・高齢者体験）出前講座 ・街なか散策会（AED設置場所リスト作成）	—	県北広域振興局保健福祉環境部	民間団体

ひとにやさしいまちづくり推進指針に関連する構成事業一覧

NO.	事業名	事業概要	令和6年度計画	令和6年度実績	令和7年度実績見込み	県民計画等各種計画における目標値	担当室課等	実施主体
4	NPO活動交流センター管理運営費	多様な主体の参画・連携・協働に向けた機運醸成とネットワークづくりに向けて、多様な市民活動を推進する拠点であるNPO活動交流センターを通じて、市民活動やNPOの活動促進などの支援を行う。	○情報紙「PIN」発行（3回） ○中間支援NPO等との連携及び相談会（司法書士及び税理士による無料相談会の実施（6回以上）、市町村訪問の実施） ○NPO運営基盤強化セミナーの開催（6回） ○専門家によるNPOへの伴走型支援の実施（6団体程度） ○県内NPOと企業等のマッチング支援の実施（マッチング件数6件以上）	○情報紙「PIN」発行（3回） ○中間支援NPO等との連携及び相談会（司法書士及び税理士による無料相談会の実施（7回）、市町村訪問の実施（12市町村）） ○NPO運営基盤強化セミナーの開催（6回） ○専門家によるNPOへの伴走型支援の実施（9団体） ○県内NPOと企業等のマッチング支援の実施（マッチング件数6件）	○情報紙「PIN」発行（3回） ○中間支援NPO等との連携（市町村訪問の実施（13市町村）） ○県内NPOと企業等のマッチング支援の実施（マッチング件数6件） ○NPO運営基盤強化セミナーの開催（6回） ○専門家によるNPOへの伴走型支援の実施（4団体） ○相談会（司法書士及び税理士による無料相談会の実施（2回）、職員による出張相談会（4回））	【県民計画第2期アクションプラン】 NPO活動交流センターにおける相談対応件数 R6：170件 R7：190件 R8：210件	環境生活部 若者女性協働推進室	県（センター運営委託）
（2） 学ぶ機会の充実								
5	県立学校医療的ケア体制整備事業	経管栄養等の医療的ケアを必要とする幼児・児童・生徒が在籍する特別支援学校に看護師を配置するもの	○看護職員配置校 9校 ○対象児童生徒数 56名 ○任用看護職員 56名 ○県立学校における医療的ケアが必要な児童生徒が、医療的ケア看護職員による医療的ケアを受けた割合100%	○看護職員配置校 9校 ○対象児童生徒数 53名 ○任用看護職員 54名 ○県立学校における医療的ケアが必要な児童生徒が、医療的ケア看護職員による医療的ケアを受けた割合100%	○看護職員配置校 9校 ○対象児童生徒数 54名 ○任用看護職員 55名 ○県立学校における医療的ケアが必要な児童生徒が、医療的ケア看護職員による医療的ケアを受けた割合（見込）100%	【県民計画第2期アクションプラン】 R6年度目標 県立学校における医療的ケアが必要な児童生徒が、医療的ケア看護職員による医療的ケアを受けた割合100%	教育委員会 学校教育室	県
6	いわて特別支援教育かがやきプラン推進事業	高等学校に在籍している障がいのある生徒のもとに特別支援教育支援員を配置し、障がい等のある生徒を受け入れる体制を整備し、学校生活への適応を図る。	県立高校に特別支援教育支援員34名を配置し、学校生活全般を支援する。	県立高校に特別支援教育支援員34名を配置し、学校生活全般を支援した。	県立高校に特別支援教育支援員33名を配置し、学校生活全般を支援している。	—	教育委員会 学校教育室	県
7	いわて特別支援教育推進プラン実践事業	「いわて特別支援教育推進プラン」に基づき、幼稚園から高等学校までの全ての学校において特別支援教育の役割を果たせるよう充実、強化を図るもの。	○サポーター養成講座を特別支援学校3校で実施 特別支援教育サポーター登録者数420人 ○全ての県立特別支援学校において、居住地にある小中学校と交流及び共同学習を実施 実施学校数 15校	○サポーター養成講座を特別支援学校3校で実施 特別支援教育サポーター登録者数394人 ○全ての県立特別支援学校において、居住地にある小中学校と交流及び共同学習を実施 実施学校数 15校	○サポーター養成講座を特別支援学校3校で実施 特別支援教育サポーター登録者数450人（見込） ○全ての県立特別支援学校において、居住地にある小中学校と交流及び共同学習を実施 実施学校数 15校	【県民計画第2期アクションプラン】 特別支援教育サポーターの登録者数 R6：420人 R7：450人 R8：480人	教育委員会 学校教育室	県
8	特別支援学校キャリア教育推進事業	特別支援学校（高等部）に職業指導支援員を配置し、作業学習等の生徒への支援・教職員の補助、授業の補助具等教材の作成により、職業教育の充実を図る。	一般就労の割合の向上のため、企業等と共に支援体制の整備を図り、特別支援学校に在籍する生徒の実習先・就労先の拡充を進める。 ○職業指導支援員の配置（5校、6名） ○技能認定会、技能認定研究協議会の実施 ○「技能認定につながる活動」「働く力や社会生活に必要な能力・態度を育成する活動」の実施 ・各支援学校において講演会や見学会を実施 ○企業との連携協議会の実施 ・県内9か所で実施 ○いわて特別支援学校就労サポーター制度の推進 ・いわて特別支援学校就労サポーター制度への登録企業数139社	一般就労の割合の向上のため、企業等と共に支援体制の整備を図り、特別支援学校に在籍する生徒の実習先・就労先の拡充を進めた。 ○職業指導支援員の配置（5校、6名） ○技能認定会、技能認定研究協議会の実施 ○「技能認定につながる活動」「働く力や社会生活に必要な能力・態度を育成する活動」の実施 ・各支援学校において講演会や見学会を実施 ○企業との連携協議会の実施 ・県内9か所で実施 ○いわて特別支援学校就労サポーター制度の推進 ・いわて特別支援学校就労サポーター制度への登録企業数140社	一般就労の割合の向上のため、企業等と共に支援体制の整備を図り、特別支援学校に在籍する生徒の実習先・就労先の拡充を進めている。 ○職業指導支援員の配置（5校、6名） ○技能認定会、技能認定研究協議会の実施 ○「技能認定につながる活動」「働く力や社会生活に必要な能力・態度を育成する活動」の実施 ・各支援学校において講演会や見学会を実施 ○企業との連携協議会の実施 ・県内9か所で実施 ○いわて特別支援学校就労サポーター制度の推進 ・いわて特別支援学校就労サポーター制度への登録企業数149社	【県民計画第2期アクションプラン】 いわて特別支援学校就労サポーター制度への登録企業数 R6：139社 R7：145社 R8：151社	教育委員会 学校教育室	県

ひとにやさしいまちづくり推進指針に関連する構成事業一覧

NO.	事業名	事業概要	令和6年度計画	令和6年度実績	令和7年度実績見込み	県民計画等各種計画における目標値	担当室課等	実施主体
9	ユニバーサルデザイン学習支援事業	管内の小中学校に対して、希望調査、講師のあっ旋（岩手点訳の会、カシオペア連邦は一とふる発見隊等）、派遣（ろうあ者・盲ろう者相談員等）等により、UDに関する学習の支援を行う。	管内の小学校に対して希望調査を行い、希望に応じてUDに関する学習支援講座を実施。 ○手話体験（単独事業） ○点字体験（特定非営利活動法人岩手点訳の会と協働） ○二戸合庁UD探検（カシオペア連邦は一とふる発見隊との協働） ※障害者のお話を聞く会：協働実施のカシオペア連邦は一とふる発見隊で対応不可のため実施しない。	管内の小学校8校において、UD学習支援講座を実施。 ○手話体験（御返地小、戸田小） ○点字体験（山根小、長興寺小） ○二戸合庁UD探検（奥中山小、福岡小、中央小、石切所小）	管内の小学校7校において、UD学習支援講座を実施。 ○手話体験（仁左平小、一戸小） ○点字体験（希望なし） ○二戸合庁UD探検（九戸小、福岡小、石切所小、奥中山小、中央小）	—	県北広域振興局二戸保健福祉環境センター	県
10	ユニバーサルデザイン推進団体（障がい者観光サポーターの会）支援（再掲）	○「障がい者観光サポーターの会」の目的 ・障がい者観光サポーターが、お互いに情報を共有し活動を作り上げていくことで、久慈地域の住民に対して障がい者への理解を促進する。 ・身体が不自由な人でも観光を楽しめるよう支援していくことを通して、ひとにやさしいまちづくりを進める。 ・具体的には、「既存の施設でいかに人に支援できるか」を重視する取組をしている。 ○当会に対する県の支援は次のとおり。 ・定例会等資料印刷費、資料郵送費の負担 ・定例会、総会及び交流会開催時の会議室貸与 ・月一定例会に担当者は適宜オブザーバー参加 ・その他、担当者が一部事業に参加	○定例会（毎月第一水曜日）にオブザーバー参加 ○ふれあい福祉まつり（障がい者体験コーナー）及び歳末たすけあい芸能大会（寸劇） ○次の事業は会が久慈市社会福祉協議会と協力して実施 ・福祉教育（障がい者・高齢者体験）出前講座	○定例会（毎月第一水曜日）にオブザーバー参加 ○以下、会の活動 ・ふれあい福祉まつり（障がい者体験コーナー） ・久慈市中央市民センター避難訓練（車いす・白杖体験） ・福祉教育（障がい者・高齢者体験）出前講座3回（長内小、久慈湊小、小袖小） ・街なか散策会（市内施設のユニバーサルデザインチェック）	○定例会（毎月第一水曜日）にオブザーバー参加 ○以下、会の活動 ・ふれあい福祉まつり（障がい者体験コーナー） ・久慈市中央市民センター避難訓練（車いす・白杖体験） ・福祉教育（障がい者・高齢者体験）出前講座 ・街なか散策会（AED設置場所リスト作成）	—	県北広域振興局保健福祉環境部	民間団体
（3） 人材・組織の育成								
11	ユニバーサルデザイン推進事業（再掲）	＜関連部分のみ＞ ○条例の理念周知や意識醸成を図るため、県・市町村職員や教育関係者、事業者、県民等を対象としたセミナーを開催	○条例の理念周知や意識醸成を図るため、県・市町村職員や教育関係者、事業者、県民等を対象としたセミナーを開催（年4回）	○ひとにやさしいまちづくりセミナー開催（計4回・ハイブリッド開催含む） ・第1回 12月12日 参加者28名 「久慈地域におけるひとにやさしいまちづくりの取組」 ・第2回 12月25日 参加者 11名 「聴覚障がい者のコミュニケーション 手話を学ぼう」 ・第3回 1月21日 参加者 25名 「全ての人の「個」が尊重される社会とは」 ・第4回 1月31日 参加者 9名 「認知症サポーターになろう」	○ひとにやさしいまちづくりセミナー開催（計4回開催予定） ・第1回 11月28日 参加者 27名 「ユニバーサルデザインを推進する上で大切な視点～普通の生活をするために～」 ・第2回～第4回 12月下旬～2月中旬 開催予定	—	保健福祉部地域福祉課	県

ひとにやさしいまちづくり推進指針に関連する構成事業一覧

NO.	事業名	事業概要	令和6年度計画	令和6年度実績	令和7年度実績見込み	県民計画等各種計画における目標値	担当室課等	実施主体
12	ユニバーサルデザイン推進団体（障がい者観光サポーターの会）支援（再掲）	○「障がい者観光サポーターの会」の目的・障がい者観光サポーターが、お互いに情報を共有し活動を作り上げていくことで、久慈地域の住民に対して障がい者への理解を促進する。 ・身体が不自由な人でも観光を楽しめるよう支援していくことを通して、ひとにやさしいまちづくりを進める。 ・具体的には、「既存の施設でいかに人に支援できるか」を重視する取組をしている。 ○当会に対する県の支援は次のとおり。 ・定例会等資料印刷費、資料郵送費の負担 ・定例会、総会及び交流会開催時の会議室貸与 ・月一定例会に担当者は適宜オブザーバー参加	○定例会（毎月第一水曜日）にオブザーバー参加 ○ふれあい福祉まつり（障がい者体験コーナー）及び歳末たすけあい芸能大会（寸劇） ○次の事業は会が久慈市社会福祉協議会と協力して実施 ・福祉教育（障がい者・高齢者体験）出前講座	○定例会（毎月第一水曜日）にオブザーバー参加 ○以下、会の活動 ・ふれあい福祉まつり（障がい者体験コーナー） ・久慈市中央市民センター避難訓練（車いす・白杖体験） ・福祉教育（障がい者・高齢者体験）出前講座3回（長内小、久慈湊小、小袖小） ・街なか散策会（市内施設のユニバーサルデザインチェック）	○定例会（毎月第一水曜日）にオブザーバー参加 ○以下、会の活動 ・ふれあい福祉まつり（障がい者体験コーナー） ・久慈市中央市民センター避難訓練（車いす・白杖体験） ・福祉教育（障がい者・高齢者体験）出前講座 ・街なか散策会（AED設置場所リスト作成）	—	県北広域振興局保健福祉環境部	民間団体
13	「岩手県防災ボランティア支援ネットワーク」事業	東日本大震災津波においては、ボランティアの受入に関し、関係機関・団体の連携が不十分であったことなど様々な問題点が指摘されたことから、平成26年3月に「岩手県防災ボランティア活動推進指針」を策定したところ。 その指針において掲げた基本的視点（「地域の受援力を高める取組の推進」及び「関係機関・団体のネットワークの構築」）を具体化するため、主に以下の取組を行うもの。 ①「岩手県防災ボランティア支援ネットワーク」連絡会議の開催	東日本大震災津波においては、ボランティアの受入に関し、関係機関・団体の連携が不十分であったことなど様々な問題点が指摘されたことから、平成26年3月に「岩手県防災ボランティア活動推進指針」を策定したところ。 その指針において掲げた基本的視点（「地域の受援力を高める取組の推進」及び「関係機関・団体のネットワークの構築」）を具体化するため、主に以下の取組を行うもの。 ①「岩手県防災ボランティア支援ネットワーク」連絡会議の開催	○連絡会議の開催（R7.1）	○連絡会議の開催（R8.1）	—	保健福祉部地域福祉課	県
14	災害派遣福祉チーム派遣体制強化事業費	災害時に要配慮者への福祉・介護の支援を行う「災害派遣福祉チーム」の派遣体制の強化を図り、災害発生時の二次的な被害（状態の重度化、関連死等）の発生を防ぎ、避難状況下においても良好な生活環境を確保するための被災者支援体制を充実させるため、チーム員の育成・訓練等を実施するもの。	※指針の改定に合わせ、今回追加した事業	○チーム員養成研修の実施：2回 ○研修参加者数：30名	○チーム員養成研修の実施：3回	—	保健福祉部地域福祉課	
2 全ての人が安全かつ円滑に移動でき、快適に過ごることができる『まちづくり』								
(1) まちづくり全体								
15	ひとにやさしいまちづくり条例に基づく県が新築または新設する特定公共的施設に係る意見聴取実施要領	県が新設する特定公共的施設のうち、次に該当するものについて障がいのある方、高齢者の方、子育て中の方などから意見を聴取する機会を設けるもの。 1 床面積合計が2千平米以上の建築物 2 区域面積5千平米以上の公園・遊園地・動物園・植物園など	○県が建築・改築する一定規模以上の特定公共的施設について意見聴取会を開催	○紫波警察署（書面開催）	○令和7年5月13日 実施（岩手県福祉・消費生活関連相談拠点施設（仮称）新築工事）	—	保健福祉部地域福祉課	県

ひとにやさしいまちづくり推進指針に関連する構成事業一覧

NO.	事業名	事業概要	令和6年度計画	令和6年度実績	令和7年度実績見込み	県民計画等各種計画における目標値	担当室課等	実施主体
16	障がい者駐車場適正利用促進事業 （ひとにやさしい駐車場利用証制度）（再掲）	○ひとにやさしい駐車場利用証制度の運営（H22～） ○公共的施設の障がい者用駐車場（車椅子使用者用駐車施設）の適正利用を促進するため、県と施設管理者が協定を締結し、利用対象者に対して利用証を交付	○利用証の交付 ○指定駐車施設の協定締結促進（R6：アクションプラン目標値 1,110区画）	令和7年3月末時点 ○利用証の交付 ・利用証発行件数 21,662件 長期（5年更新）1,159件（制度開始後累計 19,542件） 短期（最長1年間）279件（制度開始後累計 2,120件） ○指定駐車施設 28施設53区画増加（累計559施設1,185区画）	令和7年10月末時点 ○利用証の交付 ・利用証発行件数22,695件 長期（5年更新）808件（制度開始後累計 20,383件） 短期（最長1年間）191件（制度開始後累計2,312件） ○指定駐車施設 3施設9区画増加（累計562施設1,194区画）	【県民計画第2期アクションプラン】 ○ひとにやさしい駐車場利用証制度駐車区画数【累計】 R6：1,150 R7：1,170 R8：1,190	保健福祉部 地域福祉課	県
(2) 公共的施設・建築物								
17	ひとにやさしいまちづくり条例関係市町村事務処理委託	1 委託内容 ひとにやさしいまちづくり条例の施行に関する事務を、市町村に委託する 2 委託事業 経由事務・協議書審査、調査、検査事務※協議書審査における助言・指導等により整備基準の適合率向上を促し、ユニバーサルデザイン化推進の一旦を担う	○ひとにやさしいまちづくり条例関係市町村事務処理委託	○ひとにやさしいまちづくり条例関係市町村事務処理委託 経由事務：75件、審査事務：49件、調査事務：0件、検査事務：42件	○ひとにやさしいまちづくり条例関係市町村事務処理委託 経由事務：154件、審査事務：78件、調査事務：0件、検査事務：53件	—	県土整備部 建築住宅課	県
18	両磐地域まちづくり探検隊	生活者の視点にたったひとにやさしいまちづくりを推進するため、両磐地域の公共施設等のユニバーサルデザイン化の整備状況等について調査・点検し、意見・提言を行う。	○両磐地域の公共施設等の調査・点検の実施	○両磐地域の公共施設等の調査・点検の実施（平泉町学習交流施設エピカ（現地調査））	○両磐地域の公共施設等の調査・点検の実施（道の駅大東（現地調査）、一関市立一関小学校（図上調査））	—	県南広域振興局保健福祉環境部一関保健福祉環境センター	民間団体
(3) 交通機関等								
19	バス運行対策費	路線バス事業者が、主として国庫補助を受けている不採算路線を運行するために用いるバス車両を購入する場合に要する経費に対して補助するもの。	○岩手県北自動車㈱ 総事業費：61,450千円 県補助額： 5,263千円 ※R6に購入（リース）予定のノンステップバス3台の減価償却に対する補助 ○ジェイアールバス東北㈱ 総事業費：25,852千円 県補助額： 875千円 ※R6に購入予定のノンステップバス1台の減価償却に対する補助	○補助対象事業者：2者 ○補助対象車両：4台 ○県補助額： 6,138千円	○補助対象事業者：2社（見込） ○補助対象車両：9台（見込） ○県補助額：22,440千円（見込）	【県民計画第2期アクションプラン】 ・乗合バス事業者のノンステップバスの導入率 R6：46.4% R7：47.0% R8：47.7%	ふるさと振興部 交通政策室	国、県
20	公共交通バリアフリー化設備等整備費補助	鉄道事業者が鉄道駅のバリアフリー化を行う際の経費に対して、関係市町村が補助する場合の経費の一部を補助するもの。	—	○補助対象事業なし	○補助対象事業：仙北町駅へのエレベータ設置 ○県補助額：10,000千円（見込）	—	ふるさと振興部 交通政策室	県
(4) 道路								
21	都市計画道路整備事業	都市における安全かつ快適な交通を確保するとともに、都市の骨格をなす施設として、健全な市街地の形成、活力と魅力ある快適な都市形成に寄与し、併せて防災上の役割を果たす等都市の基盤となる街路を都市計画に基づき整備するもの。	○県内4箇所の街路整備を推進する。 盛岡駅本宮線、下鶉飼御庭田線、荒瀬上田面線、上野西法寺線	○県内4箇所の街路整備を推進した。 盛岡駅本宮線、下鶉飼御庭田線、荒瀬上田面線、上野西法寺線	○県内4箇所の街路整備を推進した。 盛岡駅本宮線、下鶉飼御庭田線、荒瀬上田面線、上野西法寺線	—	県土整備部 都市計画課	県
22	交通安全施設等整備事業	最も基本的な移動手段である歩行のための空間を安全で快適なものとするため、交通安全施設の整備を行うもの。 1 歩道の設置・拡幅・平坦化・段差解消、視覚覚障がい者誘導ブロックの設置 2 無電柱化	1 歩道整備 ・歩道整備13箇所うち完了予定2箇所（（主）盛岡和賀線大瀬川工区など） 2 無電柱化整備 ・（一）三日町瀬原線、（一）矢巾停車場線、（一）宮古停車場線、（国）281号、（一）遠野住田線、（一）遠野停車場線の無電柱化整備進捗。	1 歩道整備 ・歩道整備15箇所うち完了予定3箇所（（国）282号巢子工区など） 2 無電柱化整備 ・（一）三日町瀬原線、（一）矢巾停車場線、（一）宮古停車場線、（国）281号の無電柱化整備進捗。	1 歩道整備 ・歩道整備11箇所うち完了予定3箇所（（一）古館停車場線中島工区など） 2 無電柱化整備 ・（一）三日町瀬原線、（一）矢巾停車場線、（一）宮古停車場線、（一）遠野停車場線、（一）遠野住田線、（国）281号の無電柱化整備進捗。	【県民計画第2期アクションプラン】 R8年までの8年間に通学路（小学校）における歩道を15.4km整備する。	県土整備部 道路環境課	県

ひとにやさしいまちづくり推進指針に関連する構成事業一覧

NO.	事業名	事業概要	令和6年度計画	令和6年度実績	令和7年度実績見込み	県民計画等各種計画における目標値	担当室課等	実施主体
(5) 住宅								
23	住宅相談コーナーの開設	県民の各種住宅相談（含むバリアフリー改修等）に対応する窓口を設置するとともに、各種資料の提供を行うことにより、住宅のユニバーサルデザイン化の普及を促進する。	—	—	—	—	県土整備部 建築住宅課	県
24	住みたい岩手の家づくり促進事業	省エネ性にすぐれ県内各地域の気候や風土といった地域性に配慮した住宅建設に取り組もうとする工務店を広く県民にPRし、顧客の獲得を支援することにより、誰もが住みやすい良質な住宅（岩手型住宅）の普及を図る。平成22年度からは、住宅着工の大幅な落ち込みを踏まえ経済の活性化を目的に県産材を利用した岩手型住宅の新築、増築に対し助成を行うこととした。	○新築・リフォーム：55戸	○新築・リフォーム：41戸	○新築・リフォーム：35戸	—	県土整備部 建築住宅課	県
25	公営住宅建設事業（県営住宅の建設改修）	「岩手県公営住宅等長寿命化計画」に基づき、計画的なストック改善工事を実施し、県営住宅の長寿命化、ライフサイクルコストの削減を図り、将来にわたり持続可能な住宅セーフティネットの構築を目指すもの。事業実施に際しては、ユニバーサルデザイン化を行い、共同住宅におけるユニバーサルデザイン化のモデルとして民間への普及を図る。	○銅谷アパート1号棟住戸改善工事	○内匠田アパート2号棟住戸改善工事 ○銅谷アパート1号棟住戸改善工事	○銅谷アパート2号棟住戸改善工事	【県民計画第2期アクションプラン】 県営住宅の長寿命化計画に基づく修繕・改善着工率 R6：71.4% R7：82.8% R8：100%	県土整備部 建築住宅課	県
26	岩手県居住支援協議会	低額所得者、被災者、高齢者、障がい者、子育て世帯、外国人等の住宅の確保に特に配慮を要する者（「住宅確保要配慮者」）の民間賃貸住宅への円滑な入居の促進するとともに、住宅確保要配慮者向けの賃貸住宅の供給の促進等について協議するための協議会を設置するもの。	○常設相談窓口の設置 ○居住支援セミナーの開催 2回 ○居住支援関係者情報交換会の開催 2回 ・住宅確保要配慮者への個別入居支援 2件 ○セーフティネット住宅登録支援	○常設相談窓口の設置 ○居住支援セミナーの開催 2回 ○居住支援関係者情報交換会の開催 2回 ○住宅確保要配慮者への個別入居支援 2件 ○セーフティネット住宅登録支援	○常設相談窓口の設置 ○居住支援セミナーの開催 2回 ○居住支援関係者情報交換会の開催 2回 ○住宅確保要配慮者への個別入居支援 3件 ○セーフティネット住宅登録支援	—	県土整備部 建築住宅課	岩手県居住支援協議会
27	セーフティネット住宅登録制度	ウェブサイトに住宅確保要配慮者の入居を拒まない賃貸住宅（「セーフティネット住宅」）を登録し、広く提供するもの	—	—	—	—	県土整備部 建築住宅課	県、盛岡市
28	高齢者及び障がい者にやさしい住まいづくり推進事業費補助	要介護高齢者及び重度身体障がい者の在宅での自立した生活を支援するとともに、その介護者の負担の軽減を図るため、市町村が在宅の要介護高齢者及び重度身体障がい者の世帯の住宅改修に必要な経費に対し助成する場合に、その事業費の一部に対して補助金を交付する。	○補助件数（見込）：137件（30市町村）	○補助対象件数：91件 ○実施市町村数：21市町村 ○県補助額：13,554千円 ○主な改修内容：トイレ改修、浴室改修	○補助件数（見込）：143件 ○実施市町村件数：30市町村 ○県補助額：14,550千円	【いわていきいきプラン(2024～2026)】R7年度 ・市町村が行う住宅改修補助件数：120件	保健福祉部 長寿社会課	市町村
(6) 観光地								
29	世界が気づいた岩手の魅力発信事業	外国人観光客に向けた情報発信の体制整備を図るもの。	旅マエ、旅ナカでの情報発信のためのGoogleビジネスプロフィール登録支援の為にセミナーを実施する。	○Googleビジネスプロフィールを活用した情報発信支援セミナー(1回)	※事業統合のため事業廃止	—	商工労働観光部 観ブ室	県
30	インバウンドぐるっと県内周遊促進事業	効果的な情報発信を行い、知名度向上を図るとともに、外国人観光客の受入態勢の整備を行うもの。	Googleビジネスプロフィールの利用促進や食の多様化等受入態勢の底上げを図る。	—	○Googleビジネスプロフィールを活用した情報発信支援セミナー(1回) ○食の多様性セミナー(1回)	—	商工労働観光部 観ブ室	県
31	観光施設機能強化事業（全県観光案内板の改修）	本県を訪れる外国人観光客の大半を占めるアジア圏からの観光客のため、現状の日本語・英語の表記に中国語（簡体字・繁体字）、韓国語の表記を加えるもの。	カーナビ及びスマートフォン等携帯端末機器の普及により、目的地までの適切な誘導が可能となっており、対象の看板を撤去しても支障がないと考えられることから、全県観光案内板は破損等が報告されたものから順次撤去を進めていく。	—	—	—	商工労働観光部 観ブ室	県

ひとにやさしいまちづくり推進指針に関連する構成事業一覧

NO.	事業名	事業概要	令和6年度計画	令和6年度実績	令和7年度実績見込み	県民計画等各種計画における目標値	担当室課等	実施主体
32	いわてバリアフリー観光情報案内所	（公財）岩手県観光協会内に「いわてバリアフリー観光情報案内所」を設置し、バリアフリー対応状況などについて、高齢者、障がい者等へ観光情報の提供を行うほか、受入に向けた研修会等を実施する。	協会内に設置した「いわてバリアフリー観光情報案内所」において、県内宿泊施設等のバリアフリー観光への対応状況について情報提供するほか、受入を促進するための研修会等を行う。	協会ホームページで、車いすの貸出や車いす対応の客室の有無など県内宿泊施設等の対応状況の情報を発信し、電話などの問い合わせに対応した。また、「心のバリアフリー」について、観光関係者を対象とした研修会（動画配信）を開催した。	協会ホームページで、車いすの貸出や車いす対応の客室の有無など県内宿泊施設等の対応状況の情報を発信し、電話などの問い合わせに対応した。また、「心のバリアフリー」について、観光関係者を対象とした研修会（動画配信）を開催予定。	—	商工労働観光部観プ室	（公財）岩手県観光協会
33	ユニバーサルデザイン推進事業（再掲）	<関連部分のみ> ○ユニバーサルデザインマップ事業 すべての人が安全かつ円滑に移動し、公共的施設を利用できることを目的に、県内公共的施設のバリアフリー設備等の情報を公共的施設管理者や県民等から提供してもらい、県で編集の上、県ホームページで地図情報として公開	○県の広報媒体を活用したマップの周知新規事業所の登録	○県の広報媒体を活用したマップの周知を実施 ○登録施設：1,532件	○県の広報媒体を活用したマップの周知を実施 ○マップの掲載施設の整理	【ひとにやさしいまちづくり推進指針（2020～2024）】 電子マップ登録施設数R6目標：1,580件 【ひとにやさしいまちづくり推進指針（2025～2029）】 電子マップ登録施設数R11目標：1,650件	保健福祉部地域福祉課	県
34	ユニバーサルデザイン推進団体（障がい者観光サポーターの会）支援（再掲）	○「障がい者観光サポーターの会」の目的 ・障がい者観光サポーターが、お互いに情報を共有し活動を作り上げていくことで、久慈地域の住民に対して障がい者への理解を促進する。 ・身体が不自由な人でも観光を楽しめるよう支援していくことを通して、ひとにやさしいまちづくりを進める。 ・具体的には、「既存の施設でいかに人に支援できるか」を重視する取組をしている。 ○当会に対する県の支援は次のとおり。 ・定例会等資料印刷費、資料郵送費の負担 ・定例会、総会及び交流会開催時の会議室貸与 ・月一定例会に担当者は適宜オブザーバー参加	○定例会（毎月第一水曜日）にオブザーバー参加 ○ふれあい福祉まつり（障がい者体験コーナー）及び歳末たすけあい芸能大会（寸劇） ○次の事業は会が久慈市社会福祉協議会と協力して実施 ・福祉教育（障がい者・高齢者体験）出前講座	○定例会（毎月第一水曜日）にオブザーバー参加 ○以下、会の活動 ・ふれあい福祉まつり（障がい者体験コーナー） ・久慈市中央市民センター避難訓練（車いす・白杖体験） ・福祉教育（障がい者・高齢者体験）出前講座3回（長内小、久慈湊小、小袖小） ・街なか散策会（市内施設のユニバーサルデザインチェック）	○定例会（毎月第一水曜日）にオブザーバー参加 ○以下、会の活動 ・ふれあい福祉まつり（障がい者体験コーナー） ・久慈市中央市民センター避難訓練（車いす・白杖体験） ・福祉教育（障がい者・高齢者体験）出前講座 ・街なか散策会（AED設置場所リスト作成）	—	県北広域振興局保健福祉環境部	民間団体
（7）公園・水辺空間等								
35	広域公園整備事業	広域公園整備事業は地方生活圈等広域的なブロック内のレクリエーション需要への対応、自然的・歴史的環境や、住民の生活環境の保全機能、防災機能の確保等を目的として、都市計画法に基づき都市計画決定された公園を整備するものである。 整備に当たっては、移動等円滑化の促進に関する基本方針を踏まえ、園路及び広場、駐車場、便所等について整備、更新を推進している。	○管理する都市公園施設の適切な維持修繕、更新を推進する。	○管理する都市公園施設の適切な維持修繕、更新を推進した。	○管理する都市公園施設の適切な維持修繕、更新を推進した。	—	県土整備部都市計画課	県
（8）商店街								
36	地域貢献活動計画公表制度	床面積6,000㎡超の特定大規模集客施設の設置者から地域貢献活動計画書及び実施状況報告書の提出を受け、これを広く公表することにより、設置者の地域貢献への取組を地域住民に周知し、設置者の積極的な取組を支援する制度 ※地域貢献活動の一つとして、「ひとにやさしいまちづくりへの協力」が位置付けられている。	○特定大規模集客施設の設置者から地域貢献活動計画書及び実施状況報告書が提出された都度、当課ホームページで公表予定。 ○令和5年度実施状況報告書より優良事例を県ホームページへの掲載等により公表予定。	○34施設から地域貢献活動計画書の提出があり、当課ホームページで公表した。 ○令和5年度状況報告書より優良事例を県ホームページへの掲載等により公表した。	○38施設から地域貢献活動計画書の提出があり、当課ホームページで公表する。 ○優良事例を県ホームページへの掲載等により公表予定。	—	商工労働観光部経営支援課	県

ひとにやさしいまちづくり推進指針に関連する構成事業一覧

NO.	事業名	事業概要	令和6年度計画	令和6年度実績	令和7年度実績見込み	県民計画等各種計画における目標値	担当室課等	実施主体
3 全てのの人に使いやすい『ものづくり』								
(1) 製品開発・(2) 製品利用								
37	地方独立行政法人岩手県工業技術センター運営費交付金（ユニバーサルデザイン製品にかかる開発支援）	＜関連部分のみ＞ ユニバーサルデザイン製品にかかる研究開発 ※センターにおける研究テーマとして実施（「〇〇事業」といった位置付けはなし）	①IIRIデザインラボによる商品開発支援等に取り組む。 ②企業のデザイン活用促進を目的とする研究開発や研究成果の利用促進に取り組む。 ③デザインに関する情報発信による普及啓発に取り組む。	①IIRIデザインラボのホームページやFacebook、YouTubeを活用し、県内企業等にデザイン情報の普及啓発を行った。 ②「まんずデザイン相談の日」を9月から毎月1回実施し、企業等の製品開発に関する課題解決を支援した。 ③企業等へのグッドデザイン賞応募支援として、説明会及び個別支援を行った。 ④デザインに関する研究に取り組んだ。また、研究成果の外部発表を行い、企業等のデザイン活用を啓発した。 ⑤見学等の来場者（企業、関係機関、学生等）に対して、デザイン業務や県内企業の取り組み等を周知した。 ⑥外部機関からの照会に応じて、デザイン活用や製品開発支援等に係る情報提供を行った。	①IIRIデザインラボのホームページやFacebook、YouTubeを活用し、県内企業等にデザイン情報の普及啓発を行った。 ②「まんずデザイン相談の日」を9月から毎月1回実施し、企業等の製品開発に関する課題解決を支援した。 ③企業等へのグッドデザイン賞応募支援として、説明会及び個別支援を行った。 ④デザインに関する研究に取り組んだ。また、研究成果の外部発表を行い、企業等のデザイン活用を啓発した。 ⑤見学等の来場者（企業、関係機関、学生等）に対して、デザイン業務や県内企業の取り組み等を周知した。 ⑥外部機関からの照会に応じて、デザイン活用や製品開発支援等に係る情報提供を行った。	—	商工労働観光部 ものづくり自動車産業振興室	地方独立行政法人岩手県工業技術センター
38	ユニバーサルデザイン推進事業（再掲）	＜関連部分のみ＞ ○県民の意識高揚に向け、ひとにやさしいまちづくり・ユニバーサルデザインの推進に寄与した個人・団体を表彰（知事表彰）	○県民の意識高揚に向け、ひとにやさしいまちづくり・ユニバーサルデザインの推進に寄与した個人・団体を表彰（知事表彰）	○表彰なし	○各団体からの推薦内容を確認中	—	保健福祉部 地域福祉課	県
4 全ての人が必要なときに必要な形で受け取ることができる『情報発信』								
(1) 情報発信方法の工夫								
39	救助事務費（災害救助法等事務担当者研修会）	災害の被災者に対する応急救助を迅速かつ的確に実施するため、市町村及び振興局の災害救助事務担当者等を対象とした研修会を開催する。	○災害救助法等事務担当者研修会の開催	○災害救助法等事務担当者研修会の開催（令和5年7月26日開催、参加：26市町村、県振興局6箇所）	○災害救助法等事務担当者研修会の開催（令和7年7月29日～30日、8月6日～7日開催、参加：24市町村、県振興局8箇所）	—	復興防災部 復興くらし再建課	県
40	視聴覚障がい者コミュニケーション支援事業	点訳奉仕員等の奉仕員、手話通訳者等の通訳者等の養成・研修、派遣等を行うことにより、視聴覚障がい者の社会生活上のコミュニケーションを支援し、もって視聴覚障がい者の社会参加を促進する。	○点訳奉仕員の養成・研修 ○音訳奉仕員等・デジタル録音図書編集奉仕員の養成・研修 ○手話通訳者・要約筆記者の養成・研修、派遣等 ○盲ろう者通訳・介助員の養成、派遣 ○視覚障がい者パソコンサポーターの養成・研修、派遣 ○点字新聞（JBニュース）の提供	○点訳奉仕員の養成（4名） ○音訳奉仕員等・デジタル録音図書編集奉仕員の養成（11名） ○手話通訳者・要約筆記者の養成（13名）・派遣（68件） ○盲ろう者通訳・介助員の養成（13名） ○身体障がい者パソコンサポーターの養成（1名）・派遣（32件） ○点字新聞（JBニュース）の提供（各週51回）	○点訳奉仕員の養成（5名） ○音訳奉仕員等・デジタル録音図書編集奉仕員の養成（10名） ○手話通訳者・要約筆記者の養成（10名）・派遣（50件） ○盲ろう者通訳・介助員の養成（10名） ○身体障がい者パソコンサポーターの養成（1名）・派遣（30件） ○点字新聞（JBニュース）の提供（各週50回）	○手話通訳者・要約筆記者養成研修事業（修了者 20名/年度） ○盲ろう者通訳・介助員養成研修事業（修了者 10名/年度） ○パソコンボランティア養成・派遣事業（養成者 6名/年度） ○点訳・音訳奉仕員養成研修事業（受講者 17名/ 年度）	保健福祉部 障がい保健福祉課	県（岩手県社会福祉事業団へ委託）
41	いわて県政広報事業費	「いわて県民計画（2019～2028）」に基づく重要施策等、地域や生活に関わる情報を県民に適時的確に分かりやすく発信するとともに、オール岩手で震災からの復興を進めるよう復興の進捗に応じた広報を展開する。	○県広報誌「いわてグラフ」年4回発行（冊子版、点字版、録音版） ○県政番組「いわて！わんこ広報室」通年放送（手話通訳あり）、放送後はYouTubeで動画を配信	○県広報誌「いわてグラフ」年4回発行（冊子版、点字版、録音版） ○県政番組「いわて！わんこ広報室」通年放送（手話通訳あり）、放送後はYouTubeで動画を配信	○県広報誌「いわてグラフ」年4回発行（冊子版、点字版、録音版） ○県政番組「いわて！わんこ広報室」通年放送（手話通訳あり）、放送後はYouTubeで動画を配信	—	政策企画部 広聴広報課	県
42	広聴活動費（報道関係事務）	知事記者会見等を通じて報道機関への情報提供を行うことにより、開かれた県政を推進し、迅速かつ効果的に情報を発信する。	○知事記者会見 通年、手話通訳を配置、YouTubeで動画（ライブ、オンデマンド）を配信	○知事記者会見 通年、手話通訳を配置、YouTubeで動画（ライブ、オンデマンド）を配信	○知事記者会見 通年、手話通訳を配置、YouTubeで動画（ライブ、オンデマンド）を配信	—	政策企画部 広聴広報課	県（一部委託）

ひとにやさしいまちづくり推進指針に関連する構成事業一覧

NO.	事業名	事業概要	令和6年度計画	令和6年度実績	令和7年度実績見込み	県民計画等各種計画における目標値	担当室課等	実施主体
(2) 情報発信内容の充実								
43	ユニバーサルデザイン推進事業（再掲）	＜関連部分のみ＞ ○ユニバーサルデザインマップ事業 すべての人が安全かつ円滑に移動し、公共的施設を利用できることを目的に、県内公共施設のバリアフリー設備等の情報を公共的施設管理者や県民等から提供してもらい、県で編集の上、県ホームページで地図情報として公開	○県の広報媒体を活用したマップの周知 新規事業所の登録	○県の広報媒体を活用したマップの周知を実施 ○登録施設：1,532件	○県の広報媒体を活用したマップの周知を実施	【ひとにやさしいまちづくり推進指針（2020～2024）】 電子マップ登録施設数 R6：1,580件 【ひとにやさしいまちづくり推進指針（2025～2029）】 電子マップ登録施設数 R11：1,650件	保健福祉部 地域福祉課	県
44	いわてバリアフリー観光情報案内所（再掲）	（公財）岩手県観光協会内に「いわてバリアフリー観光情報案内所」を設置し、バリアフリー対応状況などについて、高齢者、障がい者等へ観光情報の提供を行うほか、受入に向けた研修会等を実施する。	協会内に設置した「いわてバリアフリー観光情報案内所」において、県内宿泊施設等のバリアフリー観光への対応状況について情報提供するほか、受入を促進するための研修会等を行う。	協会ホームページで、車いすの貸出や車いす対応の客室の有無など県内宿泊施設等の対応状況の情報を発信し、電話などの問い合わせに対応した。また、「心のバリアフリー」について、観光関係者を対象とした研修会（動画配信）を開催した。	協会ホームページで、車いすの貸出や車いす対応の客室の有無など県内宿泊施設等の対応状況の情報を発信し、電話などの問い合わせに対応した。また、「心のバリアフリー」について、観光関係者を対象とした研修会（動画配信）を開催予定。	—	商工労働観光部 観望室	（公財）岩手県観光協会
(3) 情報化対応								
45	広聴活動費（ホームページ運用）	高齢者や障がいのある人を含めて、誰もがホームページで提供される情報や機能を支障なく使用できることが重要であることから、ウェブアクセシビリティの維持・向上を図るための支援等を行う。 また、ウェブアクセシビリティに関する職員研修を行い、職員の意識啓発を図る。	○公開ページの随時確認 ○職員に対する作成支援 ○職員向けウェブアクセシビリティ研修の実施	○JISに対応したホームページ品質を維持するため、各所属で作成したページの確認。 ○各所属においてページを作成する職員に対する作成支援（不備を発見の都度、指摘、修正依頼等）。 ○ウェブアクセシビリティに配慮したホームページを作成するための職員研修を、令和6年9月から令和6年12月にかけてオンデマンド方式にて実施。	○JISに対応したホームページ品質を維持するため、各所属で作成したページの確認。 ○各所属においてページを作成する職員に対する作成支援（不備を発見の都度、指摘、修正依頼等）。 ○ウェブアクセシビリティに配慮したホームページを作成するための職員研修を、令和7年10月から令和8年1月にかけてオンデマンド方式にて実施。	—	政策企画部 広聴広報課	県
5 全ての人が多様な分野で主体的に活躍できる『参画』								
(1) 雇用・労働環境整備の促進、子育てと就業の両立支援								
46	いわて女性活躍支援強化事業	いわて女性の活躍企業等認定制度の普及等を図るとともに、経営者層への女性活躍に向けた理解促進や、女性のエンパワメント向上を図るセミナー等の実施により、女性が活躍できる職場環境づくり、女性のキャリア形成支援及び情報発信の充実に取り組むもの。	1 いわて女性活躍企業等認定制度など女性活躍関連制度の普及 2 女性活躍に向けた経営者研修の開催（保健福祉部との連携）：2回開催 3 いわて女性の活躍促進連携会議・部会等の活動 4 女性社員を対象としたエンパワメント研修の開催：2回開催 5 困難を抱える女性を対象とした就労支援：4広域で16回開催 6 いわて女性の活躍応援サイトによる情報発信の強化	1 いわて女性活躍企業等認定制度など女性活躍関連制度の普及 ○地元金融機関等との連携による優遇措置の追加：2件 ○いわて女性活躍認定企業数：585社（R7.3月末・累計） ○イクボス宣言企業：284社（R7.3月末・累計） 2 女性活躍に向けた経営者研修の開催（保健福祉部との連携）：2回開催、126名参加 3 いわて女性の活躍促進連携会議・部会等の活動 4 女性社員を対象としたエンパワメント研修の開催：2回開催、125名参加 5 女性デジタル人材育成に向けたスキル習得導入セミナーの開催 ○入門セミナー：1回開催、100名参加 ○スキル習得体験：4回開催、のべ59名参加 6 困難を抱える女性を対象とした就労支援セミナー：16回開催、45名参加（R7.3月末・累計） 7 いわて女性の活躍応援サイトによる情報発信の強化	1 いわて女性活躍企業等認定制度など女性活躍関連制度の普及 ○地元金融機関等との連携による優遇措置の追加：1件 ○いわて女性活躍認定企業数：667社（R7.11月末・累計） ○イクボス宣言企業：290社（R7.11月末・累計） 2 女性活躍に向けた経営者研修の開催（保健福祉部との連携）：2回開催、94名参加 3 いわて女性の活躍促進連携会議・部会等の活動 4 女性社員を対象としたエンパワメント研修の開催：2回開催、82名参加 5 女性活躍推進のためのキーパーソン養成講座の開催：3回連続講座 6 男性社員を対象とした女性活躍理解促進セミナー：1回開催、39名参加 7 いわて女性の活躍応援サイトによる情報発信の強化	【県民計画第2期アクションプラン】 ○えるぼし認定企業・いわて女性活躍認定企業等数（年90社） ○女性のエンパワメント研修（ロールモデル提供事業）受講者数（年130人） ○経営者研修受講者数（年130人）	環境生活部 若者女性協働推進室	県
47	児童福祉施設等整備費補助（認定こども園等環境整備費補助）	幼児教育の質の向上のための緊急環境整備に要する費用の一部を補助することにより、質の高い環境で、子どもを安心して育てることができる体制を整備する。	○児童福祉施設等整備費補助（認定こども園等環境整備費補助）17件	○児童福祉施設等整備費補助（認定こども園等環境整備費補助）46件	○児童福祉施設等整備費補助（認定こども園等環境整備費補助）38件	—	保健福祉部 子ども子育て支援室	市町村

ひとにやさしいまちづくり推進指針に関連する構成事業一覧

NO.	事業名	事業概要	令和6年度計画	令和6年度実績	令和7年度実績見込み	県民計画等各種計画における目標値	担当室課等	実施主体
48	児童福祉施設等整備費補助（児童館等施設整備費補助）	市町村が行う児童館及び放課後児童クラブ室の整備に要する経費に対して補助する。	○放課後児童クラブ待機児童数（5月時点）60人	○放課後児童クラブ待機児童数（5月時点）137人	○放課後児童クラブ待機児童数（5月時点）189人	【県民計画第2期アクションプラン】 ・放課後児童クラブの待機児童数（5月時点） R6：60人 R7：30人 R8：0人	保健福祉部 子ども子育て支援室	市町村
49	地域子育て活動推進事業費（地域子育て活動推進事業費補助）	市町村が行う放課後児童健全育成事業に従事する放課後児童支援員の認定資格研修等を実施し、放課後における子どもの健全な育成を図る。	○放課後児童クラブ待機児童数（5月時点）60人	○放課後児童クラブ待機児童数（5月時点）137人	○放課後児童クラブ待機児童数（5月時点）189人	【県民計画第2期アクションプラン】 ・放課後児童クラブの待機児童数（5月時点） R6：60人 R7：30人 R8：0人	保健福祉部 子ども子育て支援室	市町村
50	保育対策総合支援事業費	地域の実情に応じた多様な保育需要に対応するため、保育士の確保等に必要な措置を総合的に講ずることで、子どもを安心して育てることができるような体制整備を図る。	○保育士・保育所支援センターマッチング件数（件）〔R5からの累計〕228件	○保育士・保育所支援センターマッチング件数（件）〔R5からの累計〕200件	○保育士・保育所支援センターマッチング件数（件）〔R5からの累計〕342件	【県民計画第2期アクションプラン】 ・保育士・保育所支援センターマッチング件数〔累計〕 R6：228件 R7：342件 R8：456件	保健福祉部 子ども子育て支援室	県
51	子育て応援推進事業費（仕事と子育ての調和推進事業）	仕事と子育ての両立支援を促進するため、いわて子育てにやさしい企業等認証により企業の自主的な取組の促進を図る。	○いわて子育てにやさしい企業等認証数 50社	○いわて子育てにやさしい企業等認証数 112社	○いわて子育てにやさしい企業等認証数 50社	【県民計画第2期アクションプラン】 ・いわて子育てにやさしい企業等認証の認証数〔累計〕 R6：335事業者 R7：425事業者 R8：515事業者	保健福祉部 子ども子育て支援室	県
52	障害者就業・生活支援センター事業	就業を希望する障がい者、又は就業中の障がい者の生活面に関する支援を行うことにより、障がい者の就労を通じた社会参加を促進する。	※指針の改定に合わせ、今回追加した事業	○登録者数1,883人 ○就職者数263人 ○相談件数13,415件	○登録者数2,782人 ○就職者数344人 ○相談件数15,332件	【県民計画第2期アクションプラン】 ・登録者数 R6：2,981人 R7：3,052人 R8：3,123人	保健福祉部 障がい保健福祉課	県（委託）

ひとにやさしいまちづくり推進指針に関連する構成事業一覧

NO.	事業名	事業概要	令和6年度計画	令和6年度実績	令和7年度実績見込み	県民計画等各種計画における目標値	担当室課等	実施主体
(2) 誰もがあらゆる分野で活躍できる環境づくり								
53	ユニバーサルデザイン推進事業（再掲）	＜関連部分のみ＞ ○ユニバーサルデザインに関する意識醸成を図るため、県・市町村職員や教育関係者、事業者、県民等を対象としたセミナーを開催 ○ひとにやさしいまちづくりの推進に関する調査審議を行うため、ひとにやさしいまちづくり推進協議会の運営 ○県が建築・改築する一定規模以上の特定公共的施設について意見聴取会を開催	○条例の理念周知や意識醸成を図るため、県・市町村職員や教育関係者、事業者、県民等を対象としたセミナーを開催（年4回） ○ひとにやさしいまちづくり推進協議会の運営 ○県が建築・改築する一定規模以上の特定公共的施設について意見聴取会を開催	○ひとにやさしいまちづくり推進指針（2025～2029）制定 ○ひとにやさしいまちづくりセミナー開催（計4回・ハイブリッド開催含む） ・第1回 12月12日 参加者28名 「久慈地域におけるひとにやさしいまちづくりの取組」 ・第2回 12月25日 参加者 11名 「聴覚障がい者のコミュニケーション 手話を学ぼう」 ・第3回 1月21日 参加者 25名 「全ての人の「個」が尊重される社会とは」 ・第4回 1月31日 参加者 9名 「認知症サポーターになろう」 ○県が建築・改築する特定公共的施設についての意見聴取会（1回：紫波警察署（書面開催）） ○ひとにやさしいまちづくり推進協議会（9月、1月開催）	○ひとにやさしいまちづくり（2025～2029）パンフレット作成 ○ひとにやさしいまちづくりセミナー開催（計4回開催予定） ・第1回 11月28日 参加者 27名 「ユニバーサルデザインを推進する上で大切な視点～普通の生活をするために～」 ・第2回～第4回 12月下旬～2月中旬 開催予定 ○知事表彰を実施予定 ○県が建築・改築する特定公共的施設についての意見聴取会（1回：岩手県福祉・消費生活関連相談拠点施設（仮称）R7.5.13開催） ○ユニバーサルデザイン電子マップの運営 ○ひとにやさしいまちづくり推進協議会（R8.1.20開催）	—	保健福祉部 地域福祉課	県
54	重層的支援体制整備事業費（都道府県後方支援事業費）	「重層的支援体制整備事業」の実施市町村の拡大を図るため、研修会の開催や専門人材の養成などにより、市町村の取組を支援する。	※指針の改定に合わせ、今回追加した事業	（ノウハウ面での支援） ●重層的支援体制整備事業研修会（兼連絡調整会議） 参加者数：138名 ●ダブルケア研修会（オンライン開催） 参加者数：16名 ●重層的支援体制構築アドバイザーの派遣 派遣回数：8市町15回 （人材の育成・確保） ●コミュニティソーシャルワーカー養成研修等受講者数：42名	（ノウハウ面での支援） ・重層的支援体制整備事業研修会（兼連絡調整会議） （包括的な支援体制の整備に向けた事業研修会） R7.7.30開催 76名 参加 ・重層実施市町村担当者会議（同日開催） ・ダブルケア研修会 R8.1.28開催予定 ・地域福祉推進フォーラム R7.8.27開催 50名「みんなで創る地域共生社会」 ・重層的支援体制構築アドバイザーの派遣 各市町村ヒアリング （人材の育成・確保） ・コミュニティソーシャルワーカー養成研修	【県民計画第2期アクションプラン】 ・重層的支援体制整備事業を実施している市町村数 R6：8市町村 R7：13市町村 R8：18市町村	保健福祉部 地域福祉課	県
55	子育て応援推進事業費（iファミリーサービス事業）	事業に協賛する店舗、企業の協力により、買い物や遊びに出かける妊婦や子どもの連れの家庭に割引や特典などのサービスを提供するもの。	○「いわて子育て応援の店」協賛店舗数（単年度） 90店舗	○「いわて子育て応援の店」協賛店舗数（単年度） 69店舗	○「いわて子育て応援の店」協賛店舗数（単年度） 90店舗	【県民計画第2期アクションプラン】 ・「いわて子育て応援の店」協賛店舗数（累計） R6：2,600店舗 R7：2,700店舗 R8：2,800店舗	保健福祉部 子ども子育て支援室	県

ひとにやさしいまちづくり推進指針に関連する構成事業一覧

NO.	事業名	事業概要	令和6年度計画	令和6年度実績	令和7年度実績見込み	県民計画等各種計画における目標値	担当室課等	実施主体
56	認知症対策等総合支援事業	認知症になっても、本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、認知症に対する正しい知識と理解に向けた啓発を図るとともに、認知症疾患医療センターを中心とした安心の認知症医療体制の構築等を推進する。	1 認知症介護実践者等養成事業 ・認知症介護実践者研修等の開催 計10回 2 認知症地域医療支援事業 ・認知症サポート医養成研修 ・かかりつけ医等認知症対応力向上研修 10回 ・病院勤務医療従事者向け認知症対応力向上研修 1回 ・歯科医師認知症対応力向上研修 2回 ・薬剤師認知症対応力向上研修 1回 ・看護職員認知症対応力向上研修 3回 3 認知症疾患医療センター運営事業 4 認知症施策推進会議 1回 5 若年性認知症支援コーディネーター設置事業 6 認知症サポーター等推進事業 7 認知症の人と家族に係る普及啓発事業 ・認知症セミナー 1回	1 認知症介護実践者等養成事業 ・認知症介護実践者研修等 計8回 修了者数1,038名 2 認知症地域医療支援事業 ・認知症サポート医養成研修 修了者数3名 ・かかりつけ医等認知症対応力向上研修 9回 修了者数131名 ・病院勤務医療従事者向け認知症対応力向上研修 3回 修了者数24名 ・歯科医師認知症対応力向上研修 2回 修了者数107名 ・薬剤師認知症対応力向上研修 1回 修了者数299名 ・看護職員認知症対応力向上研修 1回 修了者数26名 3 認知症疾患医療センター運営事業 9箇所設置 4 認知症施策推進会議 1回 5 若年性認知症支援コーディネーター設置事業 1名設置 6 認知症サポーター等推進事業 1回 受講者数132名 7 認知症の人と家族に係る普及啓発事業 認知症セミナー 1回 参加者120名	1 認知症介護実践者等養成事業 ・認知症介護実践者研修等 計8回 修了者数830名（見込） 2 認知症地域医療支援事業 ・認知症サポート医養成研修 修了者数11名（見込） ・かかりつけ医等認知症対応力向上研修 10回 修了者数500名（見込） ・病院勤務医療従事者向け認知症対応力向上研修 1回 修了者数51名 ・歯科医師認知症対応力向上研修 2回 修了者数200名（見込） ・薬剤師認知症対応力向上研修 1回 修了者数100名（見込） ・看護職員認知症対応力向上研修 1回 修了者数100名（見込） 3 認知症疾患医療センター運営事業 9箇所設置 4 認知症施策推進会議 1回 5 若年性認知症支援コーディネーター設置事業 1名設置 6 認知症サポーター等推進事業 1回 受講者数 132名 7 認知症の人と家族に係る普及啓発事業 認知症セミナー 1回 参加者200名（予定）	【いわていきいきプラン（2024～2026）】 R7年度 ○認知症サポーター養成数：13,864人 ○認知症の人や家族の視点から認知症への理解を促進するセミナー参加者数：120人 ○認知症サポート医養成研修修了者の配置市町村数：30市町村 ○認知症地域支援推進員活動促進研修修了者数（累計）：96人 ○認知症介護指導者養成研修修了者数（累計）：51人 ○認知症サポーターが活動する場を有する市町村数：25市町村 ○企業及び職域団体向け認知症サポーター養成講座の開催回数：15回 ○オレンジチューター養成者数（累計）：13人	保健福祉部 長寿社会課	県（委託）
57	高齢者社会貢献活動支援事業費	高齢者の生きがいがつくりと社会貢献活動の促進を図ることを目的として、「岩手県高齢者社会貢献活動サポートセンター」を設置し、高齢者団体等への活動支援を行う。 令和7年度の事業見直しとして、高齢者や地域包括支援センターに対する支援を行っている高齢者総合支援センター（受託者：公益財団法人いきいき岩手支援財団）に、高齢者活動交流プラザ内の高齢者社会貢献活動サポートセンターで実施していた高齢者の社会貢献活動の促進に関する業務を統合し、既存業務との相乗効果を図りながら、総合的かつ効果的に事業を実施することとした。	○高齢者団体及び個人への支援（相談窓口の設置等） ○各種助成金に係る情報提供及び申請支援 ○交流会(学習会) 2回開催	○高齢者団体及び個人への支援（相談窓口の設置等）123件 ○各種助成金に係る情報提供及び申請支援 ○交流会(学習会) 2回開催 参加者数36名	※ 老人福祉活動推進費(高齢者総合支援センター運営事業費)に事業を統合	【いわて県民計画】R7年度 ○幸福関連指標 ・高齢者のボランティア活動比率：28.1％ 【いわていきいきプラン（2024～2026）】R7年度 ・高齢者の社会貢献活動に資する交流会(学習会)への参加人数：30人	保健福祉部 長寿社会課	県（委託）
58	老人福祉活動推進費(高齢者総合支援センター運営事業費)	高齢者の社会貢献活動の促進に資する事業費を措置し、高齢者団体等への活動支援や情報発信等を行うことにより、高齢者の生きがいがつくりと社会貢献活動の促進を図る。	※ 令和6年度までは実績なし	※ 令和6年度までは実績なし	○高齢者団体や高齢者個人等への支援（相談による支援） 34件見込 ○高齢者を対象に普及啓発を目的とした講演会等の実施 1回 ○地域の活動団体、市町村及び社会福祉協議会等による交流会の開催 2回 参加者計50名程度（見込）	【いわて県民計画】R7年度 ○幸福関連指標 ・高齢者のボランティア活動比率：28.1％ 【いわていきいきプラン（2024～2026）】R7年度 ・高齢者の社会貢献活動に資する交流会(学習会)への参加人数：30人	保健福祉部 長寿社会課	県（委託）
59	都道府県地域生活支援事業（岩手県身体障がい者補助犬育成事業）	重度の視覚障がい者、肢体不自由者、聴覚障がい者に対して、身体障害者補助犬法第2条に定める身体障害者補助犬を給付し、もって身体障がい者の自立と社会参加を促進し、身体障がい者の福祉の増進を図る。	○育成・給付数 1頭	○育成・給付数 1頭	○育成・給付数 1頭	育成・給付数 1頭/年度	保健福祉部 障がい保健福祉課	県（委託）

ひとにやさしいまちづくり推進指針に関連する構成事業一覧

NO.	事業名	事業概要	令和6年度計画	令和6年度実績	令和7年度実績見込み	県民計画等各種計画における目標値	担当室課等	実施主体
60	視聴覚障がい者コミュニケーション支援事業（再掲）	点訳奉仕員等の奉仕員、手話通訳者等の通訳者等の養成・研修、派遣等を行うことにより、視聴覚障がい者の社会生活上のコミュニケーションを支援し、もって視聴覚障がい者の社会参加を促進する。	○点訳奉仕員の養成・研修 ○音訳奉仕員等・デジタル録音図書編集奉仕員の養成・研修 ○手話通訳者・要約筆記者の養成・研修、派遣等 ○盲ろう者通訳・介助員の養成、派遣 ○視覚障がい者パソコンサポーターの養成・研修、派遣 ○点字新聞（ＪＢニュース）の提供	○点訳奉仕員の養成（４名） ○音訳奉仕員等・デジタル録音図書編集奉仕員の養成（11名） ○手話通訳者・要約筆記者の養成（13名）・派遣（68件） ○盲ろう者通訳・介助員の養成（13名） ○身体障がい者パソコンサポーターの養成（１名）・派遣（32件） ○点字新聞（ＪＢニュース）の提供（各週51回）	○点訳奉仕員の養成（５名） ○音訳奉仕員等・デジタル録音図書編集奉仕員の養成（10名） ○手話通訳者・要約筆記者の養成（10名）・派遣（50件） ○盲ろう者通訳・介助員の養成（10名） ○身体障がい者パソコンサポーターの養成（１名）・派遣（30件） ○点字新聞（ＪＢニュース）の提供（各週52回）	○手話通訳者・要約筆記者養成研修事業（修了者 20名/年度） ○盲ろう者通訳・介助員養成研修事業（修了者 10名/年度） ○パソコンボランティア養成・派遣事業（養成者 6名/年度） ○点訳・音訳奉仕員養成研修事業（受講者 17名/ 年度）	保健福祉部障がい保健福祉課	県（岩手県社会福祉事業団へ委託）
61	いわて男女共同参画プラン推進事業	「岩手県男女共同参画センター」の運営等を通して、男女が共に尊重しあい、共に参画するとともに、多様な生き方が認められる男女共同参画社会に向けた環境づくりを推進する。	○男女共同参画センターを拠点とした情報、相談、学習、交流機能の提供（通年） ○男女共同参画に関する表彰の実施（６月） ○性的マイノリティ（LGBT等）に係る理解促進に向けた普及啓発、研修の実施等	1 男女共同参画センター事業 【情報発信】センターだより(年１回)、ホームページ等 【学習】出前講座（52回）、男女共同参画オンラインセミナー（6月17日）、男女共同参画サポーター養成講座（全10回）等 【相談窓口】一般相談、法律相談、男性相談、ＬＧＢＴ相談 【交流】いわてレインボーマーチへの参加、サポーターの会と連携した講座等 2 表彰事業 いわて男女共同参画功労者表彰(２名) 3 性的マイノリティ（LGBT等）理解促進事業 行政職員向け研修会の実施等	1 男女共同参画センター事業 【情報発信】センターだより(年１回)、ホームページ等 【学習】出前講座（50回）、男女共同参画オンラインセミナー（6月21日）、男女共同参画サポーター養成講座（全6回）等 【相談窓口】一般相談、法律相談、男性相談、ＬＧＢＴ相談 【交流】いわてレインボーマーチへの参加、サポーターの会と連携した講座等 2 表彰事業 いわて男女共同参画功労者表彰（1名） 3 性的マイノリティ（LGBT等）理解促進事業 行政職員向け研修会の実施等	【県民計画第２期アクションプラン】 ○出前講座受講者数(年3,600人) ○男女共同参画サポーターの男性認定者数（年20人）	環境生活部若者女性協働推進室	○県（センター運営委託） ○表彰事業及び性的マイノリティ（LGBT等）職員向け研修は県直営
62	障がい者雇用支援事業	県内事業所の人事担当者等を対象に、障がい者雇用への理解の醸成や障がい者の受入れのプロセス等を学ぶセミナー等を開催し、障がい者雇用率の向上を図る。	○事業概要に記載のセミナー等について、年3回実施予定。	1 障がい者雇用促進セミナー ・第１回 9/17（55社97名参加） ・第２回 11/20（19社36名参加） 2 就業支援実務者研修 ・10/15（37社46名参加）	1 障がい者雇用促進セミナー ・第１回 7/11（14社29名参加） ・第２回 9/16（68社78名参加） 2 就業支援実務者研修 ・11/4（48社56名参加）	○セミナー開催回数各年度３回以上 ○セミナー参加者数各年度90名以上	商工労働観光部定住推進・雇用労働室	県（委託）
63	国際交流センター管理運営費	県民と外国人との交流を図る国際交流・協力活動の拠点としていわて県民情報交流センター内に開設している国際交流センターの管理運営を委託する。	○外国人相談対応言語数 6言語 ○外国人相談件数 600件	○外国人相談対応言語数 5言語 ○外国人相談件数 609件	○外国人相談対応言語数 5言語 ○外国人相談件数 600件	【県民計画第２期アクションプラン】 国際交流センター来館者数 R5:83,600人 R6:133,600人 R7:141,900人	ふるさと振興部国際室	県
64	地域多文化共生推進費	国際交流・多文化共生の推進を図るため、（公財）岩手県国際交流協会への委託により災害時の在住外国人支援体制構築に取り組むほか、同協会が行う外国人労働者の受入や、人材育成に係る取組等に要する経費を補助する。	○災害時外国人支援者研修会等の開催5回 ○災害時外国人サポーター登録者数10人	○災害時外国人支援者研修会等の開催6回 ○災害時外国人サポーター登録者数14人	○災害時外国人支援者研修会等の開催5回 ○災害時外国人サポーター登録者数10人 ○外国人向け医療相談会の開催回数1回 ○外国人向け医療相談会参加者数30人	【県民計画第２期アクションプラン】 本県出身者等との交流回数 R5:10回 R6:11回 R7:12回	ふるさと振興部国際室	（公財）国際交流協会
65	地域日本語教育推進費	外国人県民等が地域社会の一員として安心して生活できるよう、市町村や関係機関と連携して日本語学習支援や学習支援者の人材育成等に取り組む。	○日本語教育人材の育成に資する研修会開催回数4回 ○日本語教育人材の育成に資する研修会参加者数60人	○日本語教育人材の育成に資する研修会開催回数4回 ○日本語教育人材の育成に資する研修会参加者数92人	○日本語教育人材の育成に資する研修会開催回数4回 ○日本語教育人材の育成に資する研修会参加者数60人	—	ふるさと振興部国際室	県